

【要旨】

内政・外交面では、アルマグロOAS事務総長及びロゴジン露副首相が当地を訪問、オルテガ大統領が故フィデル・カストロ前議長の遺灰の埋葬に参列、マナグアにて第48回SICA首脳会合が開催された。経済面では、2017年国家予算が国会で可決された他、国家観光審議会の設立及び世界幸福度指数ランキングにおける当国のトップ10入りが発表された。

【主な出来事】

1 アルマグロOAS事務総長の当地訪問

アルマグロOAS事務総長は、マナグアにおいて、1日、経済界、当地EU各国大使、野党勢力、市民団体とそれぞれ会合を行い、2日、オルテガ大統領と会談を行った他、当地キリスト教福音派、及びカトリック教会とそれぞれ会合を行った。

オルテガ大統領は会談において、「我々は、彼ら（OAS）を、明年の統一地方選挙に同伴（acompañamiento）できるよう招待した。それは、もはや選挙の日だけの同伴ではなく、同選挙に参加する政治勢力、選挙当局、及び彼らが対話を望む全ての者と対話を行うためにニカラグアを訪問することである。」と述べた。

アルマグロ事務総長は、「我々が明確にしたことは、OASは、建設的な役割を担うためにあり、ニカラグアが踏み出した重要な歩みへの支援に貢献するためにある。（ニカラグアは、）治安、教育、エネルギーの分野での発展において重要な前進を遂げている。」「また、政治システムの機能に関するいくつかのテーマに調整を加えることも重要であり、これは（ラ米）地域の全ての国に起こりうることである。新たな現実、政治的参加、政治的参加の新たな力学は、システムがそれらに対応して調整されることを迫っている。」「我々の創設したこの対話の枠組みに関しては、あと数ヶ月の仕事が我々に残されている。」と述べた。

2 オルテガ大統領の故フィデル・カストロ前議長の遺灰の埋葬への参列

4日、オルテガ大統領が、2日のアルマグロOAS事務総長との会談後、キューバを訪問し、故フィデル・カストロ前国家評議会議長の遺灰のサンタ・イフィヘニア墓地での埋葬に参列した。

3 ロゴジン露副首相の当地訪問

7日、オルテガ大統領とムリージョ大統領夫人（次期副大統領）は、ニカラグアを訪問中のロゴジン露副首相と会合を行った。オルテガ大統領は、「我々を結束させ、近づけるも

のは、平和につながる人道主義的目標である。プーチン大統領が開始した戦いは平和のための戦いであり、我々もその戦いを共にする。」等述べた。

4 第48回SICA首脳会合の開催

20日、当地において第48回SICA首脳会合が開催され、右会合冒頭で成果文書であるマナグア宣言が署名された。各国からは、サンチェス・セレン・エルサルバドル大統領、モラレス・グアテマラ大統領、メディーナ・ドミニカ共和国大統領が出席した。成果文書であるマナグア宣言は、中米物流政策フレームワークの普及、組織犯罪対策地域計画の実施、中米防災センターによる早期警戒システム等に言及した。

5 2017年予算の可決

1日、国会は賛成76票で、歳出80,008.09百万コルドバ（約2,758.90百万ドル）となる2017年国家予算を可決した。右歳出のうち、46,122.30百万コルドバ（約1,590.42百万ドル）は貧困削減戦略に充てられる。他方、税収等国内資本による歳入は67,758.40百万コルドバ（約2,336.50百万ドル）、国外からの融資及び贈与は12,249.69百万コルドバ（約422.40百万ドル）である。歳出のうち公共投資プログラムには19,059.68百万コルドバ（約657.23百万ドル）、公共バス補助金に335.10百万コルドバ（約11.56百万ドル）が充てられる。また、2017年の地方選挙には803.90百万コルドバ（約27.72百万ドル）、右選挙時の警備のため国家警察に39.10百万コルドバ（約1.35百万ドル）、国軍に19.30百万コルドバ（約67万ドル）が充てられる。

6 国家観光審議会の設立

15日付政府系広報紙は、ムリージョ大統領府広報官（次期副大統領）が、当国の観光促進のための連携モデルにおいて、より適切なコーディネーションを行うため国家観光審議会を新設すると発表した旨報じた。同審議会は、大統領府主導の下、観光庁（INTUR）、地方自治振興庁（INIFOM）等様々な機関、民間企業の代表者等も参加する。同広報官は、「我々（ニカラグア政府）は様々な観光ルートの開発を望んでおり、より多く、より良い投資の促進、開発に資する利便性を提供できる様強化していきたい。」と述べた。同広報官によると、政府は観光分野の他にも、各地域における治安の強化等の様々な計画を進めており、さらに、今後、生産・消費・商業分野全体に係る計画の見直しを進めていく。

7 2016年の世界幸福度指数

26日付政府系広報紙は、ニカラグアが英国のNew Economics Foundation (NEF) が発表した2016年の世界幸福度指数においてトップ10入りしたと報じた。10年前からある

世界幸福度指数は、開発や人間開発指数に代わる幸福度を表す指標である。ニカラグアは右幸福度ランキングにおいて、コスタリカ（1位）、メキシコ（2位）、コロンビア（3位）、バヌアツ（4位）、ベトナム（5位）、パナマ（6位）等に次いで7位となった。なお、世界幸福度指数は、生活満足度、平均寿命、健康格差並びにエコロジカル・フットプリントの4項目を基準とし、各国国民の長く幸福な生活を送るための環境を測る。

<主要経済指標>

	2016年			2015年	2014年
	12月	11月	10月		
インフレ率（前年同月比）	3.1%	3.3%	3.4%	3.1%	6.5%
貿易収支(百万ドル)	未発表	△349.7	△289.5	△3,012.5	△2,820.3
輸出 FOB(百万ドル)	未発表	143.6	177.2	2,421.7	2,632.7
輸入 FOB(百万ドル)	未発表	493.3	466.7	5,434.2	5,452.9
海外送金（百万ドル）	未発表	104.3	108.1	1,193.4	1,135.8
外貨準備高(百万ドル)	2,447.8	2,360.4	2,401.1	2,492.3	2,276.2

（出典：ニカラグア中央銀行）